

**製品名: FGF-22 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10932**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	20kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FGF22
別名	FGF22; Fibroblast growth factor 22; FGF-22
遺伝子 ID	27006.0
SwissProt ID	Q9HCT0
免疫原	抗血清はヒト FGF22 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

**背景**

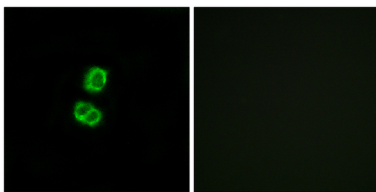
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、線維芽細胞増殖因子 (FGF) ファミリーのメンバーです。FGF ファミリーのメンバーは、広範な細胞分裂促進作用および細胞生存活性を有し、胚発生、細胞増殖、形態形成、組織修復、腫瘍の増殖および浸潤など、

様々な生物学的プロセスに関与しています。この遺伝子のマウスホモログは、毛包の内毛根鞘で優先的に発現することが示されており、毛髪の発達に関与していることが示唆されています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2014年7月]、機能：毛髪の発達に関与している可能性があります。、類似性：ヘパリン結合増殖因子ファミリーに属します。、サブユニット：FGFBP1と相互作用します。、

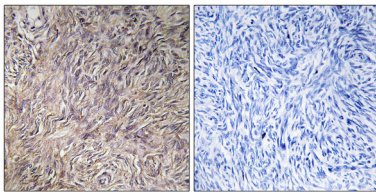
## 研究分野

MAPK\_ERK\_Growth;MAPK\_G\_Protein;アクチンと細胞骨格を制御;がんの経路;黒色腫;

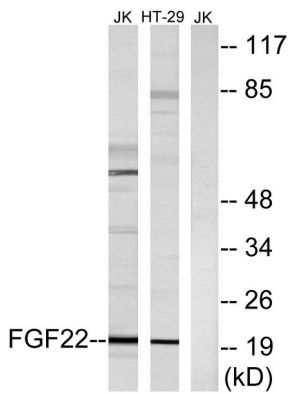
## 画像データ



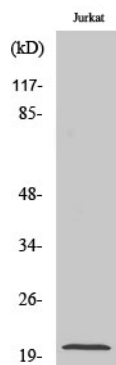
FGF22抗体を用いたMCF7細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



FGF22抗体を用いたパラフィン包埋ヒト卵巣組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



FGF22抗体を用いたJurkat細胞およびHT-29細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000に希釈したFGF-22ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析